

第39回 議会改革推進特別委員会記録

令和6年8月27日（火）

開議 13時 00分

閉議 13時 43分

全員協議会室

【委員】 牛尾委員長、西田副委員長

三浦委員、村武委員、小川委員、布施委員、佐々木委員、田畑委員

【議長団・委員外議員】 笹田議長

【事務局】 下間局長、松井次長、小寺書記

議題

1 事務事業評価について

(1) 試行の詳細確認

2 議会図書室の活用について

(1) 図書館との協議結果報告

3 新人職員との意見交換会について

(1) 当市議会で進める可否について委員の意見確認

4 議会表彰制度の導入について

(1) 当市議会で進める可否について委員の意見確認

5 その他

○次回開催 令和6年9月3日（火）個人一般質問終了後

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[13 時 00 分 開議]

○牛尾委員長

第39回議会改革推進特別委員会を開会する。本日は全員出席である。

1 事務事業評価について

(1) 試行の詳細確認

○牛尾委員長

事務局から説明をお願いします。

○小寺書記

(以下、資料を基に説明)

○牛尾委員長

順に意見を聞いていきたい。1番について何かあるか。委員会によってはすでにサンプルを上げて絞り込むという話も聞いているので、進んでいるような印象を受けた。1番についてはよろしいか。

(「はい」という声あり)

続いて2番について。問題ないか。

(「はい」という声あり)

3番について。各議員が通告とあるので、各常任委員会で事業を選出したら、所管委員会の議員はその事業は取りあえず深掘りをするということで通告するようになっているという認識で良いか。

○小寺書記

質疑の通告は所管委員会委員に限ったものではないが、特に所管の委員は評価意見書を作っていく作業が必要なので、必要事項を質疑していただければと思う。

○牛尾委員長

特にこの特別委員会のメンバーで所管の方は、それぞれの所管事業を絞り込みした場合は、深掘りのための通告をよろしくをお願いします。

続いて4番について。問題はないか。

(「はい」という声あり)

続いて5番について。ここで留意してほしいのは、ほかの常任委員会選出の事業についても評価することである。意見や質疑はないか。

(「はい」という声あり)

では6番について。何かないか。(2)に各グループの委員会室にパソコンを設置とあるが、当特別委員会メンバーが中心になっていただきたいと思っている。共通のイメージでよろしいか。

(「はい」という声あり)

7番について。実際に試行しての問題点などは必ずあると思う。当特別委員会メン

バーは適切な指導をして、アンケートがスムーズにできる努力をしてもらいたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

では、議題1については全て了解ということで置きたい。

2 議会図書室の活用について

(1) 図書館との協議結果報告

○牛尾委員長

事務局から説明をお願いします。

○小寺書記

(以下、資料を基に説明)

○牛尾委員長

過日、次長と書記とで図書館へ出向いて協議した結果を説明いただいた。

この件について質問はあるか。先般の議員各位所蔵の本は第1議会図書室に配置し、団体貸出については局長席前にある本棚を想定する。委員が運用の想定内で少し頑張っていたかなければならないのが、1日から8日の分野依頼である。杞憂で終わるかもしれないが、この流れでよろしいか。

(「はい」という声あり)

皆に了解をいただいたということで、このような流れにさせていただく。

3 新人職員との意見交換会について

(1) 当市議会で進める可否について委員の意見確認

○牛尾委員長

先般もいろいろ意見があったが、再度皆の意見を伺っておきたい。

○田畑委員

新人職員と議員との意見交換となれば、新人職員が緊張したり言葉を選んで話さなければならなかったりするような環境にしてはいけないとの思いから、どうなのだろうと思う。あまりプレッシャーになるような行動は議員として慎むべきだと思う。

○村武委員

若手職員だと緊張される場所もあると思う。その中でどのような意見交換会になるのか懸念するところではある。テーマというのは市職員として働いてどのように感じるかなのか、それとも浜田市の課題などを話し合うのか。テーマについても少し考えないといけないのではないか。

○小川委員

先般の人権研修の中でもそのような話があったが、職員と議員との関係というのは、どちらが上とか下とかではないが、そういう感覚がある中でなかなか難しいのではないかというのが率直な感想である。

○布施委員

新人職員と議員との関係ではなかなか本音が出ない部分があり、難しいと感じる。テーマも必要だろうし、それに対して議員がどこまで答えられるかということも出てくると思う。そういった考えからすると、これは特別やるべきものでもないと思う。

○佐々木委員

なかなか難しいことかと思う。ただ、意見交換して出た意見をどう扱うかによって、少し取り組む価値があるかもしれない。例えば新人職員が政策や事業に対する思いがあって、現場サイドで言っても届かないようなことを議会側が聞いて、幹部に少し伝えるなど、それなりに意見が反映されるのであれば少し価値があるかと思う。

○三浦委員

新人とはいえそれぞれの持ち場で役職がある中で、議員と腹を割って話すのは難しいかと思う。加えて、新人職員のみならず職員との意見交換をすでに行っているわけでもないの、新人に限ってやる意味が見いだせないのが正直なところである。

○西田副委員長

これは良いことだと前向きに捉えているが、意見交換をやるからには議会側と新人職員との共通認識、浜田市をこれからどうしたいかという共通認識を持った前向きな意見交換をすることはプラスになるのかと思う。違う立場同士が意見交換することでお互いの立場が理解でき、少しでも融合できるのならプラスになるかとは思ふ。

しかし新人の立場になってみると、いきなり議会側との意見交換というのも気持ち的にはかなり厳しいものがある気もする。例えば1年目ではなく2、3年目で少し行政の中身が理解できた方とやるなど、いろいろなやり方があると思う。

○牛尾委員長

入り口論からも相当難しいというのが全体的な意見だったように思う。ただ、やり方によってはやるべき価値がある、そういう方法論もあるかと。ただ現時点では、それがこれというものには行き着かない印象があった。大方難しいという大勢なので、やり方があるという考え方はあるにせよ、前へ向かうときにこのテーマを特別委員会でやる必要があるのかという感じはする。現状ではまだ難しいという意見が多かったので、我々はこの件について一応見送るという選択もある。

5年10年という中間の方が次のセカンドチャンスを求めて市役所を離れる現実が全国的にあるわけで、それをやむを得ないものとして我々が調査せず放置するのもどうかと思う。どうだろうか。何か意見があるか。

○布施委員

小松島市も職員との意見交換会をやり始めたばかりである。小松島市と浜田市の議長同士で親しいと思うので、やった意見なども出てくるだろう。それを待って今回は一応置いて、また機会を見てやってみる。やるなら新人に限らず対象を詰めた上で再構築すれば良いのでは。今回は皆の意見によって難しいという結論に至ったとして置かれたらどうか。

○牛尾委員長

布施委員が代表して言われたような感じもするが、今回はそういうことで、次の

機会にこの問題についてやってみようということでもよろしいか。

(「はい」という声あり)

では今回は見送り、次の回があればその時にということでも置きたい。

4 議会表彰制度の導入について

(1) 当市議会で進める可否について委員の意見確認

○牛尾委員長

この特別委員会でやるべきかどうか、今日皆の意見を伺って決めたいと思っているので、忌憚のない意見をお願いします。

○布施委員

表彰される対象者はそれなりに功績があつてするということで、大変名誉なことだと思っている。ただ、浜田市には各種表彰制度がある。議会として表彰する場合は何をもってやるのか、基準を明確にするべきである。いろいろな部門があるし、議会としてどこまでやるのか難しい。

○佐々木委員

議会が表彰する側にあるかどうかという疑問が大きい。また、どういう表彰にしていくか、選ぶ対象など、管理もとても大変でしかも継続していかなくてはいけない。費用やリスクもあるので、なかなか難しいと思う。

○三浦委員

私も同じである。議会として表彰することに対する違和感をいまだに持っている。ので、議会としての表彰実施はそぐわないと思う。

○田畑委員

表彰の実施要項を制定しているとのことだが、実際に読んだことないので良く分からないが、議会がそこまで市民を表彰すべき位置付けなのかどうかを考えると、それは市長の仕事であつて議会の仕事ではないと感じる。議会表彰はやらなくても良い。

○村武委員

私も議会として表彰者を決めるというのが難しいのではないかと感じた。

○小川委員

前回と比べて皆の意見の雰囲気が違う。私は前回、前向きに捉えても良いのではないかと思った。那賀町は表彰対象が児童生徒ではなかったか。今でも浜田市の表彰対象になっている部分はあるが、スポーツで頑張っている子どもたちを激励する意味で、そういう制度はあつても良いのではないかという観点から、前向きに捉えたほうが良いのではないかと言っていたと思う。

○西田副委員長

那賀町のような議会表彰となると文化部門やスポーツ部門などもろもろで、浜田市の場合は市民憲章などで表彰されているので、それと議会とが被るのはあまり良くないと思っている。そういう意味では表彰制度の実施も難しいと思うが、例えば若い方々が将来政治や議会により一層関心を持っていただけるよう、はまだ市民一日議会

で提案されたことで実際に市が動いて実施された例に対し、市民憲章とは別枠で、将来政治に感心が向くような表彰制度なら考えられなくはないという気がした。

○牛尾委員長

特別委員会で進もうかというレベルでないことは分かった。一部貴重な意見も承ったが、当特別委員会としては議会の仕事かどうか疑問を抱く委員が多かったように思う。したがって、意見の多いほうを採用したい。このテーマについては今回見送りで、次の機会に何か良いアイデアがあれば、実現する機会があるかとも思うので、浜田市議会で進めるには至らなかったということで、表彰制度の導入についてはこれ以上の議論を控えるということで、皆の意見をまとめたい。そういうことでよろしいか。

(「はい」という声あり)

5 その他

○牛尾委員長

今日あらかじめ用意した議題は終了した。ほかに何かあるか。

○小寺書記

議会図書室の活用についてだが、皆、中央図書館との連携は説明したような運用方法で良さそうだとのことだったので、議長への報告内容をまとめていきたい。こちらについては次回の委員会で皆に示したいのだが、9月30日の定例会議最終日の全員協議会で全議員にお知らせしたいがために、9月定例会議期間中に一度集まっていたきたい。議題は図書室の活用についてのみではあるが、9月3日火曜日の一般質問終了後に少し時間をいただき、議長への報告内容の確認ができればと思っているが、いかがか。

○牛尾委員長

9月3日の一般質問終了後に、議長への答申文案について皆に理解をいただくために少し時間をいただきたい。短時間で集まっていたいただき、その折に次々回の開催については相談したい。それでよろしいか。

(「はい」という声あり)

ほかに何かあるか。事務局からも何もないか。

では、本日の議題は全て終了したため、議会改革推進特別委員会を終了する。

[13 時 43 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会委員長 牛 尾 昭